

ご自由にお持ち帰りください

さくらだより



さくら病院

SAKURA

日本医療機能評価機構認定



日本医療機能評価機構



健・康・通・信

さくら病院の理念

愛の心と確かな医療技術を以って社会に奉仕する。

Vol. 32



特定健診・特定保健指導



さくら病院 院長
江頭 啓介

昨年（H20年）4月から法律が変わり、従来のミニドックにかわって健診（特定健診）と医師や栄養士などによる保険指導（特定保健指導）が義務付けられました。これは内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）を治し、生活習慣病を予防して、国民の健康を増進するために始められた制度です。

これによりひとりひとりの自己管理への意識が高まる事によって、肥満や高血圧・糖尿病が少なくなる事を国は期待しています。

私共は誰もが自分が健康で元気で生活したいと願っていますが、ひとりひとりの人生観や生きる価値観は同じではありません。

暮らし方も人それぞれですので、特定保健指導で日常生活のスタイルを強制的に変えられることは余り気持ちの良いものではありません。

この健診が自己責任というより、自分の生き方にあった健康法をみつける自己啓発のきっかけになれば良いのではないかと思います。

まずは是非、特定健診を受けてみて下さい。

新任ごあいさつ



内科・心療内科
渡邊 克己 医師

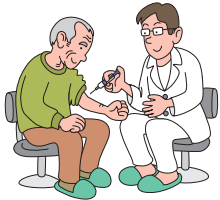
1月19日に入職しました。だからといって「救急専門」ではありません。「専門は何科ですか？」と聞かれると「なーんも、せんもん」と答えています。

一応若いときは心身医学（心療内科）を九大で9年、山口大で14年間教えていました。

ここに赴任する前は阿蘇産山村診療所で、聴診器・血圧計・心電図を軸に村民の健康管理をしていました。携帯もインターネットも無縁の生活でした。

久保九大病院長のお話でこのさくら病院に赴任しましたが、コンピュータを駆使したシステムに浦島太郎というか裏山多老状態です。

色々教えて下さい。でもすぐに忘れます。だから同じことを質問します。怒らずに教えて下さい。認知症老人の対応法の基本です。よろしく。



通所リハビリ紹介

さくら病院内に、通所リハビリテーションがあるの御存じですか？

通所リハビリテーションとは、要介護と要支援の認定を受けた方を対象に日常生活の自立及び在宅支援を目的に介護保険サービスを提供しています。一年を通して色々な行事をしています。代表的な院内行事は8月の夏祭りや12月のクリスマス会です。夏祭りでは、出店や盆踊りなどで夏を感じて頂く行事となっています。又12月のクリスマス会では、通所リハビリ室に飾り付けをし、歌やクリスマスにちなんだゲーム等提供しております。院外行事では、バスハイイクで花見などの企画をし、利用者様にご満足していただいています。無料体験も行なっておりますので、興味を持たれた方は是非ご連絡してください。スタッフ一同お待ちしております。



フィルムレスになりました

当院では平成20年11月17日より画像保管・通信システム（PACS: Picture Archiving and Communication System）を導入し、画像検査でのフィルム使用をやめ、専用の高解像モニターによる診断を始めました。

中心のコンピューターでX線、MRI、CTの画像データを一括電子管理し、接続された各モニターで保管されているすべての画像を瞬時に呼び出し見ることが出来ます。また同じ画像を同時に複数のモニターで見えることもできます。

先に導入したオーダリングシステムと組み合わせることにより、紙伝票やフィルムの移動時間が削減され診察時間も短縮されます。

今までのフィルム記録も専用の読み取り装置で電子記録に変換することができます。



五月病について

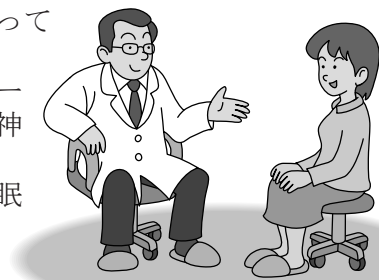
心療内科 村上修二 医師

春は進学や就職、また引越しなどで大きく環境が変化するシーズンですね。せっかく努力して進学や就職を果たしたのに、がんばって転職したはずなのに、五月の連休明け頃になるとぼちぼちとなぜか会社や学校に行くのがおっくうになる人がでできます、これを五月病と呼んでいます。もともとはこの頃に無気力になり欠席しやすくなる大学生に対しキャンパス内で五月病とつけたのが始まりだったようです。

五月病は医学的には適応障害と呼んでいます。新しい環境の変化に張り詰めて臨んでいた疲れが徐々に出てきたり、理想と現実のギャップに悩んだりしたストレスが原因となっています。解決法としては、周囲の人に積極的に気持ちを話して相談したり、仕事や学校以外の気分転換方法を新たにみつけたり、十分に睡眠をとって疲れを取るのも必要です。「初めから上手いかないのはあたりまえ、時間をかけて馴れていけばいい」と、ちょっと開き直って少し気長に考えてみるのは大切かもしれません。

新しく新人を迎える側の心がけとしては、ちょっとしたコミュニケーションの積み重ねが、新たな環境に悩む新人さんに安心感を与え、精神的なストレスを和らげます。

お互い忙しいなかにもちょっとした声かけが大事かと思います。不眠が続き、食事ものどを通らず、遊びに行くのもおっくうになるほど悩んでいる時はうつ状態となっている可能性もあります、長引くときは病院の受診もすすめてあげてください。



ボランティア通信

寄稿 ボランティア
佐藤 弘幸様

つれづれなるままに 第三内科でのあるときのこと

患者様Oさん（以下家族を含む）が数年前「さくら病院」に入院され本年一月に転院されました事からこのペンを起します。

Oさんは住み慣れた「さくら病院」から一月中旬より全く初対面の方々にお世話になる「T病院」へ（ある意味では一からのスタートとなる）転院する事になり、私はOさんの心情を察して大変淋しい思いをしているのではないかと思索しました。そこで転院された四〜五日後に「T病院」を訪問しました。

私が想像していた以上に淋しそうにしていましたと同時にOさんは私の訪問に大変ビックリして喜んでくれました。Oさんにとっては私が転院先まで来るとは考えも想像もしなかったからです。

これから話す事が私の本旨です。
一月迄第三内科担当の方々が誠意看護、介護に当られた事に対して疑う余地は全くありません。

私は常日頃第三内科の方々と接していたからです。転院により直接的看護、介護は出来なくなりましたが転院によりOさんの事は全く「終り」ではないと私は考えています。まだ出来る事はあります。

それはOさんに対する「心のケア」

私は第三内科の方々に呼掛けてOさんにどんな事でもよいのでメッセージを書いて下さいと依頼して一週間後に取りまとめ早速Oさんに届けましたところまたまたビックリ仰天、思わずOさんの頬が弛みしました。永年闘病生活をしている多くの患者様は笑う事を忘れた生活を送っているものです。（これこそ心のケア）

取って第三内科の方々に申し上げたい事は、わずか三〜四行のメッセージを書いた事はもう忘れていた事でしょう、私が訪問している事も私にとっては小さい事です。この事象がOさんの心に入っているとはとても大きな嬉しさと喜びとなっているのです。

転院した後私達達（Oさん一家）を気遣ってくれている事はOさんにとって「九牛の一毛」ではないのです。その事に第三内科の方々に気づいてほしかったのです。

私は今後も一ボランティアとして第三内科の方々とOさんの間に入って心の接着剤の役割を果たしていきたいと思っています。

後記

今後とも時々転院される患者様が発生する事でしよう。その時はそれで全て終りではない事を申し上げたかったのでこの拙文を記しました。

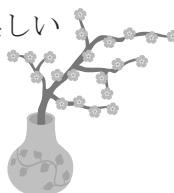
さくらユニット雛祭りイベントにて

3月のイベントである雛祭り会が、3月3日さくらユニットにて行われました。

当日は沢山のボランティアさんお手伝いして下さり、お雛人形の見守り中デイルームで会が催されました。車椅子の患者様やその御家族、中にはベッドのまま参加する患者様もおられました。状態からケーキを食べられない患者様もいらっしゃいましたが、おひな祭りのデコレーションが施されたケーキを見て、笑顔で過ごされていました。

可愛いケーキとお茶を楽しみながら、ボランティアさんのオカリナ演奏に合わせ、雛祭りの歌や、季節の歌を歌い、楽しいひとときを過ごしました。

スタッフ・患者様・御家族共に季節感を感じることができ、良い気分転換になったと思います。



品質方針

医療法人社団 江頭会 さくら病院は、顧客第一主義を基本理念として、良質の医療・介護サービスの提供と働きやすい職場づくりの改善を継続的に行ってまいります。

そのために人間性、知識、技術の3点を合わせて、個々のレベル向上と個々を基盤とした確かな組織づくりを継続的に行ってまいります。具体的には、以下の3点に集約し推進します。

1. 顧客のニーズと期待、及び法令・規制要求事項を把握し、これらに適切な医療・介護サービスを提供いたします。
2. さらに魅力ある医療・介護サービス提供を目指し、医療・介護サービスの有効性の継続的改善を行ってまいります。
3. 顧客のプライバシー保護には特段の配慮を致し、手段については有効性の継続的改善を行ってまいります。

2005年3月22日 医療法人社団江頭会 さくら病院 理事長 江頭 啓介

病院の診療指針

- 1、一期一会を大切に
- 2、友愛ともにいたわりともに励ます
- 3、医療は信頼から
- 4、多忙な中にも対話を忘れずに
- 5、医療サービスは深い思いやりをもって
- 6、慢心は敵、安全医療に徹する
- 7、快適な職場づくりはひとりひとりの心掛けから
- 8、救急協力は無償の愛をもって
- 9、向上心をもって医療に取り組む

看護サービスの基本理念

- 1、患者様との触れ合いを大切にし、安全で思いやりのあるケアを行う。
- 2、医師及び他部門と協働し、働きやすい職場づくりを行う。
- 3、看護・介護の質の向上をめざし、自己研鑽を重ねる。
- 4、地域・医療・福祉との連携を図り、継続したケアが提供出来るよう取り組む。
- 5、社会の変化に対応し、柔軟な発想で業務改善を行う。

さくら病院の患者権利7カ条

患者様は、「患者中心の医療」の理念のもとに、人間としての尊厳を有しながら医療を受ける権利を持っています。また、医療は、患者様と医療提供者とがお互いの信頼関係に基づき、共同してつくり上げていくものであり、患者様に主体的に参加していただくことが必要です。

地域の皆様の生命と健康を守ることを使命とするさくら病院は、このような考え方に基づきここに「患者権利7カ条」を制定します。

さくら病院は、この「患者権利7カ条」を守り、患者様の医療に対する主体的な参加を支援していきます。

1、だれでも、どのような病気にかった場合でも、良質な医療を公平に受ける権利があります。

さくら病院は患者様に対して常に公平であるとともに、適切で安全な医療の提供や、医療の質の向上を目指して知識・技の研鑽に努めています。

2、だれもが二人の人間として、その人格、価値観などを尊重され、医療提供者との相互の協力関係のもとで医療を受ける権利があります。

さくら病院の職員は、患者様の個々の人格や価値観などを尊重し、両者がお互いに協力し合いながら医療をつくり上げていくよう努めます。

3、病歴、検査、治療、見直しなどについて、理解しやすい言葉や方法で、納得できるまで十分な説明と情報を受け、治療方法を自分の意思で選ぶ権利があります。

さくら病院の職員は、患者様とのコミュニケーションを大切にし、患者様の理解を助け、納得が得られるように努めています。また、治療方法の選択については患者様の意思を尊重いたします。なお、別の

医師の意見（セカンドオピニオン）をお聞きになりたいという御希望も尊重いたします。

4、自分の診療記録の開示を求める権利があります。

患者様とさくら病院は診療情報を共有しつつ、共同作業者として治療を進めてまいります。

5、診療の過程で得られた個人情報、秘密が守られ、病院内での私的な生活を可能な限り他人にさらされず、乱されない権利があります。

さくら病院は、個人情報、秘密の保持や私生活をみだりにさらされないようにという患者様のプライバシーの権利について、厳正に取り扱ってまいります。

6、納得できる医療を受けるために、医療に関する説明を受けても良く理解できなかったことについて、充分理解できるまで質問する権利があり、同時に治療の指示を守る義務があります。

患者様が、治療等に関する十分な説明や情報提供により納得のいく医療を受けていただくために、そして治療法等を自分の意思で選択していただくためにも、分からないことがあれば何度でもさくら病院職員に質問して下さるようお願いいたします。

7、すべての患者様が適切な医療を受けられるようにするため、患者様には、他の患者様の治療や病院職員による医療提供に支障を与えないように配慮する義務があります。

病院では、職員が数多くの患者様に様々な医療を提供しています。そのため、患者様は通常の社会生活にはない制約を受けざるを得ないこともあります。このことを十分御理解していただき、適切な医療の提供に御協力くださるようお願いいたします。

海外救急医療視察研修

1内科 安野 繁

今年の2月7日より救急病院主催のハワイでの海外救急医療視察研修に参加させていただきました。

研修内容はアメリカの保険制度の実際と問題点の説明、救急医療を行っている病院と日帰り手術を行っている病院の見学を行いました。アメリカの保険制度は日本と違い各個人が数種類ある保険の中から選択して加入するという形になっています。この保険料も日本よりも高額で、独身者の場合年間約47万円かかります。家族単位となると100万円～200万円になります。

保険の種類によってはカバーできる疾患の種類が違ったり、主治医もその保険と提携している先生でないとだめなど日本と比べ複雑で、収入に占める保険料の高さにも驚きました。見学したカピオラニメディカルセンターはハワイでも2番目に忙しいERを持っている病床数116床の病院ですが年間3万5千人の患者様が来院されるそうです。この研修で海外での医療制度や医療の実際を学ぶ事ができ貴重な体験をしました。



平成20年度 さくら病院活動報告

- H20年4月 インターフェロン「検査医療機関」「治療医療機関」実施医療機関 登録
風疹・麻疹定期予防接種実施医療機関 登録
新人オリエンテーション（前期）
- 6月 外来オーダーリングシステム導入
第10回さくらフォーラム（KKR博多）
消防避難訓練
- 8月 第10回さくらグループ業務改善コンテスト（山の上ホテル）
ビアパーティー（山の上ホテル）
- 10月 ISO更新審査
3内科 10：1看護体制 導入
新人オリエンテーション（後期）
- 11月 電子画像システム 導入
クリーンベンチ 導入 中心静脈注射剤無菌的混合調剤 開始
日本医療機能評価V.5 受審
- 12月 地域モニター会 開催
消防非難訓練
- H21年1月 訪問リハビリテーション「介護サービスの情報の公表」受審
- 2月 新年会（ホテル日航福岡）

平成20年度 入職者

平成20年4月

吉瀬 由美
龍 みゆき
熊谷 哲也
飯盛 恵美
谷口 和嘉子
郡山 雄太
角屋 史猛
伊藤 拓

5月

田上 ひとみ
木下 身衣子

6月

松永 えり奈
相良 舞
辻野 久美
久野 和江
加峰 則子
竹山 美穂

7月

林 里美
宇都 千帆美

8月

山本 正子
外山 亜由美

10月

瀬尾 優子

11月

松山 章子
福重 妙
森永 由利香
山中 歩

12月

古賀 小百合
鶴田 渚美
古藤 由香

平成21年1月

渡邊 克己
井上 美希子
佐々木 真理子

2月

正木 知世
吉村 里香

3月

右近 麻衣子
高橋 大史
富永 康一郎
中村 智恵子

医療安全標語 決定

H20年11月医療安全週間において、患者様を中心としたチーム医療の推進を図る事を目的に、患者様及び御家族に標語を募集しました。その結果、多数の公募があり投票の結果、赤司貞子様の「やさしさと信頼結び 桜咲き 医療安全 笑顔満開」に決定しました。

H21年2月9日（月）午後2時より応接室にて、医療安全責任者の山口看護部長より赤司様へ感謝状の授与を行いました。

【看護部長】

今回はとてもよい標語を作っていただきありがとうございました。

【赤司様】

まさか入賞するとは思いませんでした。嬉しいやら誇らしいやらです。川柳をちょこちょこ書いています。

ほっと出来る歌が好きですね。主人が入院している病棟にマリア様のように優しい看護師さんがいるんですよ。「優しさはマリア様のように…」とか「たのもしいうナースはいつもボインちゃん」なんか色々書いています。

【看護部長】

ユーモアと強さと優しさがありますね。又いろいろと気が付かれたことがあったら、お知らせ下さい。

【赤司様】

先生と看護師が協力してよい医療が提供出来るようお祈りしております。

今回頂いた評語を1年間、院内に掲示して病院スタッフや患者様の医療安全への関心高まるよう又医療安全に努めていきたいと思ひます。



クラブ紹介

アロマクラブ

だからこそ、私たちは様々なストレスで心身ともに疲れたとき、アロマの香りを嗅ぐことでほっとするので。しかし、アロマクラブは、こんな難しいことばかり勉強しているわけではありません。

1日の勤務を終え、緊張した心身を西先生の優しいお人柄と甘いスイーツとアロマの香りですとろけるような癒しの時間を過ごしています。

今までは、自分たちが癒されることで満足していましたが、西先生の、職場のスタッフの皆さんの疲れを癒してあげたいという願いと、今まで学んできたことを発表する場として、職場のスタッフの皆さんにハンドマッサージを体感していただこうと、現在ハンドマッサージの練習中です。アロマの香りと私たちのタッチングで、疲れを癒しリフレッシュしていただき少しでも働きやすい職場作りに役立てばと思っています。

アロマクラブでは、精油を使った化粧水・ハンドクリームを作ったり、芳香浴を楽しみながら、精油の薬理作用や効果などの知識を学んでいます。

実は、精油にはすばらしい力が、秘められているのをご存知ですか？



託児所のご案内

託児所では、保育室の環境構成に四季折々の物を取り入れる様、心掛けています。3月は桃の節句。今、保育室には手作りのひな飾りで溢れています。子供達は環境の変化にすぐに気付き、指を指して声を上げたり、ひな祭りの歌を歌って踊ったりします。

周囲の友達や保育士と共鳴しながら、興味や関心を広げ、自ら環境に関わる意欲を高めていきます。

その中で少しずつ自分の感覚を用いて季節の変化を感じ取っていく事を目的としています。環境との相互作用によって成長・発達していく子供にとつて、最も身近な人的環境である私たち保育士の存在の重要性を常に認識しなければなりません。

安定した情緒の下で、周囲の環境に興味・関心を向け、盛んに探索活動をしていく様、これからも見守り援助していきたいと思っています。

おすすめ簡単レシピ

なめたけ御飯

材料

白御飯

味付きなめたけ

かつおフレーク

サラダ油漬

ねぎ又はしそ

錦糸卵

・紅しょうが

適量

適量

適量

好み

彩り

作り方

かつおフレークサラダ油漬の油は切っておく。

白御飯に味付きなめたけと油を切ったかつおフレークサラダ油漬を入れ

て混ぜるだけ。(好みで

ねぎ・しそを)

味の調整は味付きなめた

けの量で行なう。

最後に彩りで錦糸卵・紅

しょうがを添える。

油を好まない方は水煮の

かつおフレーク缶を使用

します。



●開放型病院登録医療機関ご紹介●

もとむらクリニック



院長
本村 明 先生

福岡市城南区干隈2丁目8-28号
TEL 092-404-1584
<http://www.motomuraclinic.com/>

みなさん、お元気ですか。
さくら病院では6年半勤務し、昨年11月5日に干隈2丁目のスーパリーのレッドキャベツ横で開業しました。まだまだ不慣れで戸惑うことばかりですが、これまで通り、一人一人の患者さんを一生懸命に診療させていただいています。
専門の胃腸病では、胃がん、大腸がんの早期発見を目指し、胃力メラ、大腸力メラを苦しめないよう行っています。そのために経鼻胃力メラを常備し、希望により鎮痛剤も使用しています。また、安全に行える場合は、日帰りでのポリプ切除も行っています。
専門分野以外もさくら病院での経験を生かし地域に根ざしたホームドクターとして貢献したいと思っています。
禁煙治療、メタボ検診を始め各種検診などにての健康生活の維持、介護が必要になった方には、24時間在宅支援を行い生活の手伝いも行っています。
さくら病院をはじめ地域の中核病院とも連携し安心して受診していただけるクリニックを目指しています。
これからも御指導よろしくお願いいたします。

田中宏明内科胃腸科クリニック



院長
田中 宏明 先生

福岡市城南区片江4-1-6
TEL 092-864-0007
<http://www.hiroaki-clinic.jp>

今から28年前、福岡日赤病院の研修医だった私は、江頭先生と兄弟と運命の出会いをしました。
昭和58年4月1日、江頭病院（さくら病院の前身）開院の日に当直をして以来、この片江の地で江頭兄弟にご指導・ご鞭撻を賜り続けております。
先日、26年目を迎えたさくら病院の新年会にお招きいただきました。
大きなホテルの宴会場いっぱいに繰り広げられるスタッフの方々の和がもたらす温かさに、病める人々に体と心の癒しを提供する喜びを感じ取る事ができました。
福岡大学・九州大学のみならず市内有名病院の一流医療人が提供する先端の医療の恩恵を受ける事ができるのは、さくら病院ならではのメリットです。
お膝元で仕事をさせていただいている私共のような零細医療機関にとつて、さくら病院は誠に頼りがいのある存在であるとともに、医師にとつても不可欠な生涯学習の場となるオアシスといえます。
今後の益々の発展を心よりお祈りしております。

チェンシ



看護師の白衣が変わりました。

21年度を迎え白衣をChange。
ついでにロゴマークをいれてみました。
Yes, We Change!
心も新たに頑張ります。

さくら病院では「医療連携室」と「医療相談室」を2つの柱として相談窓口業務を行っています。
どうぞお気軽にご相談ください。

【病診・病病連携のご案内】

地域の病院・診療所と連携をとるために医療連携室を設けております。
患者様の病気や症状に応じ、「診療所と病院」、「病院と病院」、「病院・診療所と特定機能病院」が連携を密にし、患者様へ適切な治療を行えるよう、検査・入院体制を整備しています。

「医療連携室」「医療相談室」のご案内

「医療連携室」

患者様へ適切な医療の提供が行えるよう、地域の診療所や病院、在宅サービス事業所等との連携に努めています。

「医療相談室」

退院後の生活に対する不安、福祉や介護サービスについて、経済的な問題、入院相談等についての相談を承っています。お気軽にお声をおかけ下さい。

医療連携・相談室 TEL 092-864-1212 FAX 092-865-4570

担当者	医療連携室長	楠原 浩之	相談受付	
	在宅部事務長	南里 幸嗣	平日	午前9:00～午後5:00
	医療ソーシャルワーカー	小川 美和	土曜日	午前9:00～午後12:30
		松山 章子		



■さくら病院では、セカンドオピニオンのご相談にも応じています。まずは、お電話でお問合わせください。

外 来 診 察 表

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前	第1診察室	江頭(芳) 総合診療科/脳卒中・胃腸科	江頭(芳) 総合診療科/脳卒中・胃腸科	江頭(芳) 総合診療科/脳卒中・胃腸科	江頭(啓) 総合診療科/東洋医学科	江頭(啓) 総合診療科/東洋医学科	江頭(啓) 総合診療科/東洋医学科
	第2診察室	楠原 内科/消化器科(肝臓)	王寺 内科/胃腸科	秋満 内科/循環器	西本 内科/胃腸科	王寺 内科/胃腸科	楠原 内科/消化器科(肝臓)
	第3診察室	八坂 内科/胃腸科	村上 内科/心療内科	一瀬 内科/胃腸科	岡田 内科/胃腸科	辰島 内科/心療内科	大隈 内科/糖尿病外科
午後	第1診察室	江頭(芳) 総合診療科/脳卒中・胃腸科	江頭(芳) 総合診療科/脳卒中・胃腸科	王寺 内科/胃腸科	江頭(啓) 総合診療科/東洋医学科	江頭(啓) 総合診療科/東洋医学科	
	第2診察室	秋満 内科/循環器	西本 内科/胃腸科	石津 内科/血液・腫瘍	楠原 内科/消化器科(肝臓)	秋満 内科/循環器	
	第3診察室	村上 内科/心療内科		佐々木(靖) 循環器(隔週)	早田 内科消化器科(肝臓)	安部 脳神経外科	
	第5診察室						
専門外来 (予約制)	午前	井上 神経内科外来		馬場 神経内科外来	渡辺 呼吸器内科外来	岡崎 放射線科外来	
	午後	秋満 循環器外来		石津 血液・腫瘍外来 佐々木(靖) 循環器外来	楠原 肝臓外来 早田 肝臓外来	安部 脳神経外科	

病院までの交通アクセス

■ 地下鉄七隈線
(福大前下車、1番出口より徒歩10分)

■ バス(西鉄バス長野町バス停下車)

西鉄バス系統番号

(天神方面より) 12,13,14,114,140番

(西新・飯倉方面より) 95番

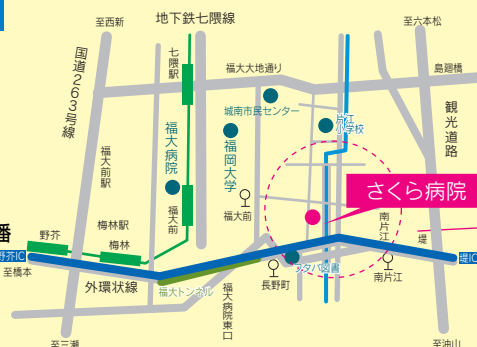
(博多駅方面より) 12,13,16,18,64,114,140番

(松原・片江方面より) 6,12,13,14,16,18

64,95番

■ 車(病院裏手に専用駐車場があります。)

天神より約30分・堤ICより約5分



医療法人社団 江頭会 さくら病院
在宅医療介護センターさくら



社会福祉法人 桜花会
ライフケア大手門

社会福祉法人 桜花会
特別養護老人ホーム ライフケアしかた

高齢者安心ハウス
あっとほーむ片江

〒814-0142 福岡市城南区片江4丁目16-15 TEL092-864-1212 FAX092-865-4570

E-mail: info@sakurahp.or.jp

ホームページ: <http://www.sakurahp.or.jp/>

(12月1日ホームページを更新いたしました)

(事務所 TEL 092-801-7386)